

にしじま通信

編集者 西島 由紀恵



今年も残りあとわずか・・・

みなさまにとって、どんな1年だったのでしょうか。

いいこと、嬉しいことがあったのなら感謝し、悪いことやつらいことがあったとしても永遠に続くことは決してないので、落ち込みすぎないように、心を元気にしてくださいね。

「朝のこない夜はない」

「人生谷がなければ、山はわからない」

「楽は苦の種、苦は楽の種」

昔の人は、いい言葉をたくさん残してくれています。



ところで、公私ともに忙しかった1年なのですが、ひとつ悔いていることが・・・。

“ちっちゃな展示会” 12月の予定ができなかったんです。準備不足のままやっても、来ていただいた方に申し訳ないという思いもあり、結局延期することになりました。次回、というか来年も楽しんでいただけるイベントを企画中ですので、ぜひ、遊びにいらしてくださいね。

来年もみなさまにとって、素晴らしい一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

〒919-0621 あわら市市姫 5-6-33

西島木材株式会社

リフォームハンズにしじま

西島和之一級建築士事務所

フリーダイヤル 0120-430-150

H・P nishijima-wood.co.jp

～社長の一言～

鯖江の工務店さんが主宰している経営塾に行ってきました。というか、女房に無理やり連れていかれました。(笑)

ブレない経営をするためには、理念が大事ということで非常に考えさせられました。

「人生死ぬまで勉強」ですね。



ちょっと

……木になるおはなし……

吉祥木(きちじょうぼく)

古くから、宅地内に植えておくといわれている木があります。これを「吉祥木」といいます。それぞれの土地や家によって多少の違いはありますが、どれも日常生活の充足や健康のため、あるいは家運の隆盛や子孫の幸福を願ったものです。

身近でどこの家にもあるのは「南天」ではないかと思えます。



「難(なん)を転(てん)じて福を呼ぶ」というので縁起物とされています。

赤飯の上のにのせるのは、防腐と毒消しの効果があることを経験的に知った

先人が伝えたものといわれています。その実は煎じて咳止めに使われていました。幹を削って箸にするのは、子供が箸をかむ癖を薬効に利用するためで、その成分が五臓を整え六腑を養うとされていたためです。病人の箸にもよく用いられたとか…。赤い実は見た目もかわいく、花材の乏しい冬期には珍重されたので、万人に親しまれる吉祥木です。



風水とお掃除って、とても深い関係なんです！

「ここに花を飾ってはいけません」という風水師の方はいらっしゃるかもしれませんが、「お掃除をしてはいけません」という風水師は一人もいません。



風水の観点から見たお掃除は、家の中の滞っている「悪い気」を家の外に出して、新しい「良い気」を入れる、家のデトックスといったところです。

いい運気はきれいな場所を好むそうで、いつも掃除が行き届いていてきれいな家には、常にいい運気が入ってくるそうです。



風水お掃除術では、玄関の掃除が一番重要です。玄関は、家の中に気が入ってくる大切な場所なので、一番先に玄関をきれいにして、気の流れをスムーズにしてあげることがポイントです。次にお掃除するところは寝室です。人は、寝ている間に厄を払い落とすので、寝室には悪い気がたまりやすいのです。

トイレ、お風呂、キッチンなどの水周りは、汚れたものを洗い流す場所であるため、同じく、悪い気がたまりやすい場所です。水周りをきれいにするだけで、厄をきれいに払い落とすことができ、新しい良い気を吸収しやすくなります。また水周りは、金運、健康運、家庭運など、重要な運気と深く関わっているため、気合を入れてお掃除しましょう。